

昨日と本日年長児さんは特別な「お茶席」にお呼ばれしました。

赤い毛氈が敷かれて、上品なお茶室に変身した和室で「お茶セレモニー」が始まりました。昨日はくるみグループとりんごグループ、今日はドングリグループとぶどうグループが参加しました。毎年、年に数回ですが、九州よりお茶の先生が来てくださり、子どもたちに「ていねいなお茶のたしなみ方」や「おもてなしの仕方」等を教えてもらっています。

「赤い毛氈の引かれた和室で、一人ずつ静かに座り、和服の先生から「お茶席でのステキな動き方、お菓子の食べ方、お茶の飲み方、おじぎの仕方等々」を一人ずつに教えてもらい、緊張しながらも、手ほどきされたようには出来ないなりに、正座して取り組んでいました。

- 1) 両手は膝におき、ゆっくりと歩く。
- 2) お客さま（参加した子）は正座して待つ。
- 3) 自分の前に来た「お菓子」を菓子盆に左手を添え、懐紙にのせていただく。「どうぞ」「ありがとうございます」「お先に」の挨拶。
- 4) 運び役の方は両手で茶碗を持ち、お客様の前で座り「どうぞ」と言って置く。



「ありがとうございます」と言い、隣の人へ「お先に」と挨拶してから茶碗を両手で持ってゆっくり回しそっと口に入れていただく。飲み終わると親指と人差し指で茶碗を挟み自分で口を付けた箇所を拭く等々。ちょっと緊張した中で、いつもとは違う雰囲気を感じました。この貴重な経験が日頃の生活の中のどこかで、「ていねいな立ち振舞い」や

「ていねいなことば使い」に活かしていければと思っています。



*今朝の姿のエピソードから・・・登園直後の男の子たちからの発声「のこぎりできりころすぞ！」「ゾンビがでてきてやっつけるぞ！」と女の子や小さな子に脅かす声が聞こえてきました。ご家庭でゲームやビデオでの影響なののでしょうか？着替えや絵のコーナーでの出来ごとでしたので、次への活動が進まずちょっとしたパニック状態でした・・・。子どもは刺激的な出会いが大好きですが、お休み中のご家庭での生活の延長が他の子への影響となってしまうこともありますので、上手な受け止め方や表現の仕方が出来るようご家庭でも教えていただければと思います。

松伏第二小学校 地域交流会

コミコミ KIDS DLUB(コミコミ キッズ クラブ)

日時：10月31日(土) 午後12時20分～午後3時

場所：松伏第二小学校 体育館・校庭・特別教室(別紙参照してください)

内容：さまざまな「ものづくりコーナー」や「あそびコーナー」を設け、地域の方たちや、保護者、先生が指導者や補助者となり、一緒に付きっきり、遊んだりします。

*特に年長児さんにとっては小学校を知る良い機会ともなりますので、大人同伴で遊びに行ってみてください。(上履き・作った物を入れる袋持参)

*駐車場はありません。